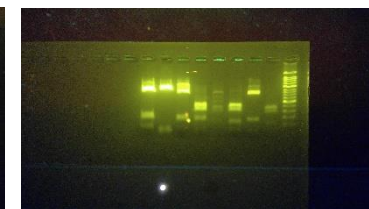
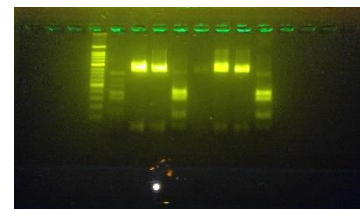


STEM 生物授業「RFLP 法による DNA 解析および発光生物に関する講義」(生物分野)

9月27日(金)に中部大学 応用生物学部 教授の大場裕一先生による STEM 講義が実施されました。今年度のホタルミミズ研究の2回目となる今回の内容は、7月の講義で抽出・増幅した DNA を制限酵素処理し、それを電気泳動して、その結果を解析しました。日本では現在、5つの型のハプロタイプが発見されています。昨年度の研究では本校敷地内には4種類発見され、今回の解析結果でも同じく4種類を確認できました。考察では、採集場所とハプロタイプの関係や、気候との関係など新しい疑問が生じて大変有意義な討議を行うことができました。また、大場先生のグループが海底洞窟で発見した発光クモヒトデに学名および和名をつけたお話などを紹介していただき、理系として今後研究をしていく生徒たちにとって、刺激となる講義となりました。



ホタルミミズの DNA バンド ↑

